

半導体ストレージ 使用例

データベース高速化	データベースのインデックスのみ、あるいは、データベース全体をSSDまたはサーバー型フラッシュメモリーに入れると、データのアクセス速度は著しく改善する。
キャッシュ・ティア	SSDをキャッシュ・ティアとして増設することで最も要求頻度の高いデータへのアクセスを高速化できる。通常のキャッシュと非常によく似ている。
ブート・ストーム (boot storm)	VDIイメージを半導体ストレージに入れることで、多数のユーザーが一斉にブートする時間帯に発生する「ブート・ストーム」問題を解決する。
データ・ロケーション および ハイブリッド	頻繁に要求されるデータを要求者の近くのキャッシュ・ストレージにおくことにより、アクセスを高速化し、中央のSANへの負荷を減らす。
総半導体ストレージ 基盤	I/Oに対して大きな負荷がかかるアプリケーションに対して、半導体ストレージは、電源と冷却の要求を満たし、且つ、15Kのハードディスクでの同様の構成に比べ、最大80%の消費削減を達成する。